



2021年11月12日

各 位

会 社 名 アジア航測株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 紀一郎
(コード：9233 東証第二部)
問合せ先 常務取締役経営本部長 迫 徹
(TEL. 044-969-7230)

新市場区分におけるスタンダード市場選択に関するお知らせと
新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書について

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日開催の取締役会において「スタンダード市場」を選択することを決議し、その旨の選択申請を行いましたのでお知らせいたします。

また、当社は、移行基準日（2021年6月30日）時点において、当該市場の上場維持基準を一部充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、併せてお知らせいたします。

記

○上場維持基準の適合状況

2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より通知された、当社の新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果は以下のとおりであり、移行基準日時点においてスタンダード市場の流通株式比率基準を充たしておりません。

	当社状況	上場維持基準	計画書に記載の項目
株主数	3,181人	400人以上	
流通株式数	39,445単位	2,000単位以上	
流通株式時価総額	33億円	10億円以上	
流通株式比率	21.1%	25%以上	○

当社の試算では、上記流通株式比率の他、事業法人が所有する株式のうち、当該事業法人の有価証券報告書記載内容から純投資目的と判断する株式の持株比率が0.18%あります。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題、内容、計画期間

当社は、流通株式比率向上に対し、一部の株主様の株式売却により流通する株式を増加

させるとともに、IR 活動の強化により、当社株式の流動性を高めていくことを基本方針として取り組みます。

当社では、かねてより当社事業運営上結びつきの強い事業法人との連携を重視した株主構成を基本としてまいりましたが、昨今の株式市場環境に鑑み、株式の流動性が低いことを課題と捉え、今後は引き続き協力関係を維持しつつ、事業法人の株主様に対して市場での当社株式売却を要請する等、流通株式の増加に取り組んでまいります。

また、現在当社グループでは、「明日(あす)を共創(つく)る～Leading for the Future～」をスローガンとした中期経営計画において、航空レーザ計測等で取得した三次元データの活用等により、防災・減災や国土強靱化への対応や超スマート社会の実現を目指すとともに、社内の経営戦略強化のための IT 基盤整備の両面で「AAS-DX (Asia Air Survey - Digital Transformation)」の展開を推進しております。

(<https://www.ajiko.co.jp/ir/ir01.html#mid-t>)

この中期経営計画、並びに「新たな空間情報ビジネスの可能性に挑戦し、成長し続けるグローバル企業」として、連結売上高 500 億円、ROE 8% という長期ビジョンの達成に向け、引き続き企業価値の向上を図るとともに、IR 活動をより推進・強化し、投資家の皆様への情報提供を適宜公平に行い広く関心を集めることで、当社株式の流動性を高め、流通株式比率等の改善に努めてまいります。

なお、その計画期間につきましては、今後の中期経営計画の推進状況等が株式市場に影響を及ぼす時期に鑑み、2024 年 9 月末までを目標とします。

以上